



令和4年度 学校だより

はがきた

第3号 令和4年6月24日

教育目標

『学ぶ子 守る子 がんばる子』
集中して学び、生命と人権を
守り、生きる力の基礎を身に
付けた子どもを育成する。

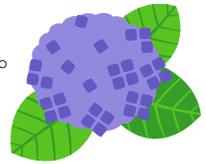
1学期、あと1か月！

6月21日(火)に夏至を迎え、昼の時間が最も長い時季となりました。保護者の皆様にはますます御健勝のことと思います。日が経つのは早いもので、1学期は残り1か月を切りました。この2か月半あまりの中には、4、5年生の宿泊学習を始め、様々な行事があり、児童の明るく元気な活動と大きな成長を感じています。御家庭での様子はいかがでしょう。様々な行事でどんなことを行ったのか、お子様と話をしてもらい、身に付けたことを実践してもらってはどうか。「こんなこともできるようになったの」と驚かれることもあると思います。よろしくお願ひいたします。



臨海自然教室に行ってきました!!

6月16日(木)、17日(金)の2日間、5年生の臨海自然教室がありました。茨城県銚田市にあるとちぎ海浜自然の家で行う宿泊学習です。一昨年は中止、昨年は日帰りでしたが、今年は一泊に縮小して、実施することができました。皆様の御理解と御協力に感謝しています。海辺近くの自然の家ということで、海に関する活動ができました。1日目夜に行ったナイトハイクでは、薄暗い時間に出発し浜辺で真っ暗になりました。懐中電灯に映し出される波やその音がたいへん幻想的でした。また、2日目に行った塩づくりでは、気温が高い中、海水を蒸発させて塩を作ったので、とても暑くて、とても熱い作業でした。それでも児童達の取組は明るく前向きで、自然の家の方々にいっぱいほめていただきました。児童同士の助け合いが随所に見られ、友情を深めることができた2日間だったと思います。きっと、もっといろいろな活動をしたかったに違いありません。コロナウイルス感染症の状況がさらに良くなってくれればと思います。



テントに泊まりました!!!

4年生は、6/2(木)、3(金)の2日間、モビリティリゾートもてぎ(旧ツインリンクもてぎ)のハローウッズに宿泊学習に行ってきました。初めての宿泊学習でしかもテント。なかなか眠ることができませんでした。でも、みんな元気に活動しました。ウォークラリーやナイトウォークなど自然に親しむ活動や、カレー作りなど、みんなで協力して楽しく活動する姿が見られました。

ワーク・ライフ・バランス

この言葉は、ワーク(仕事)とライフ(生活)のバランスを整え、より豊かな生活を送ろうということを考え作られた言葉です。本校では、心身の健康を保つために、月一度、定時退勤日を設けるようにしています。なかなか達成はできていませんが、働き方改革を進めていきます。

7月の主な行事予定

- 1(金) 町学力向上研修会研究授業
- 5(火) 4年エコステーション見学
- 6(水) 北小タイム(縦割り班共遊)
- 12(火) 教職員による読み聞かせ
5年生生き物調査
益子特別支援学校居住地校交流
- 13(水) クラブ②
PTA本部役員会



- 14(木) 6年水泳教室①
- 15(金) 5年水泳教室①
- 20(水) 第1学期終業式 表彰
ワーク・ライフ・バランス
- 21(木) 夏季休業(~8/31)
- 22(金) 個人懇談①(~7/29)
- 31(日) 県立中学校説明会
(矢板東高附中)



☆児童たちの活躍・学校生活の様子☆

【宿泊学習モビリティリゾートもてぎ】(4年)



【臨海自然教室】(5年)



【華道体験】(6年)



【ブレインジム】(2年)



心柱はどうやって立てたの？

日本には今から数百年も前に建てられ今も現存している建造物がたくさんあります。その中には千年以上も経っている建物があると聞きます。大小様々ですが、重機のなかった昔の時代に、どうやって建てたのだらうととても不思議になります。

心柱(しんばしら・しんちゅう)とは、日本で古くから建てられている五重塔などの中心に立てられている柱のことです。世界一の高さを誇る東京スカイツリー。スカイツリーは耐震構造に優れているのですが、実はこの「心柱」の技術が用いられているそうです。確かに古くからある五重塔や三重塔が地震で倒壊したという話は聞きません。古代の技術は侮れませんね。



この心柱、30m以上はあると考えられるわけですが、重機のない時代にどうやって立てたのでしょうか。実はこの問題は、かなり前にNHKの「ようこそ先輩」というテレビ番組の授業で、小川三夫さんという栃木県出身の宮大工の方が講師を務め、出身小学校の児童に出した問題なのです。小学生を数人ずつの班に分けて数日考えさせ、7、8mもあると思われる木の柱を実際に校庭に立てるというものでした。それぞれの班が様々な方法で実験し、見事立てられた班があったことを覚えています。全ての考え方が正解。そんな番組だったと記憶しています。



さて、この番組の講師小川三夫さんは、御存知の方もいるかと思いますが、日本一の宮大工です。高校時代の修学旅行で奈良の法隆寺を訪れたとき、1300年経っていても美しくあり続ける建造物に魅せられ、宮大工になる決心をしたそうです。卒業後法隆寺で仕事をしていた西岡常一棟梁に弟子入りを直訴しますが、「弟子を養う余裕がない、年齢的に遅い」ということで受け入れてもらえませんでした。諦めることなく自身で修行を続け、4年後に何とか弟子となったそうです。

人はいつどんなときに、何に興味をもつかわかりません。変化の激しい新しい時代、目の前にある仕事がなくなるかもしれません。それでも、できれば早くやりたいことが見つかれば、それに向けて一生懸命にかつ楽しく努力できることを願っています。新しい時代に必要とされている力、今その獲得が求められています。



※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。
ぜひ御覧ください。